

令和7年度

不活化ポリオ

予防接種費用を一部助成します。

この予防接種は予防接種法では定められていない任意の予防接種です。

裏面をよくお読みになり、予防接種を受けるかお決めください。

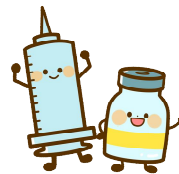
接種を希望する場合は、同封の予診票をご使用ください。

対象者

以下のすべてに該当するお子さん

- ・接種日時点で観音寺市に住民票がある
- ・小学校入学前1年間の年長児
- ・4種混合または5種混合の予防接種が4回目まで完了している

(4回目の接種をしてから6か月以上経過していることが望ましい)



助成回数

1回

自己負担金

4,700円/回

助成期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日まで

実施医療機関

観音寺・三豊市の協力医療機関(別紙参照)

◆上記以外で接種希望の場合は健康増進課まで
ご連絡ください。

予防接種の受け方

①このお知らせをよく読む



②医療機関に予約をする



③予診票に必要事項を記入する



④予約した日に予防接種を受けに行く

【持ち物】予診票、母子健康手帳、接種費用

健康保険証などの住所が確認できる物

◆予約日に体調不良等で接種できない場合は必ず予約した
医療機関に連絡してください。

注意事項など

- 予診票はお子様を診て、接種する医師への大切な情報です。責任をもって記入してください。
- 予診票は消すことのできない油性ボールペン等の筆記用具で記入してください。
- 予防接種の必要性や、副反応についてよく理解し、わからなければ接種を受ける前に医師に質問してください。
- 接種当日、お子様の状態をよく観察し、普段と変わりのないことを確認してください。
- 転出等で、観音寺市に住民票がない場合はお手持ちの予診票は使えません。
転出先の担当課へご相談ください。
- 予診票等の再発行は本庁舎1階4番窓口へお越しください。

Q1. ポリオってどんな病気？

- A. ポリオ(急性灰白髄炎)は脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ポリオウイルスによって発生する疾病です。名前のおり子ども(特に5歳以下)がかかることが多く、麻痺などを起こすことのある病気です。
- 主に感染した人の便を介してうつり、手足の筋肉や呼吸する筋肉等に作用して麻痺を生じることがあります。永続的な後遺症を残すことがあり、特に成人では亡くなる確率も高いものとなっています。
- ポリオウイルスに感染した場合、弛緩性麻痺を起こす割合は1%以下とされていますが、麻痺性の急性灰白髄炎を発症した場合には、一般に2～5%のお子さんが亡くなってしまうといわれています。また、特に成人の場合は重くなりやすく、15～30%の方が亡くなってしまうといわれています。

Q2. どうして年長児が対象なの？

- A. 過去に接種したワクチンの効果が時間とともに薄れるためです。
- 年長さんで追加接種をすることで、免疫力を維持・向上させ、ポリオウイルスへの感染リスクを低減させることができます。

Q3. ワクチン接種の効果は？

- A. ワクチン接種により、99%の方が十分な抗体を獲得すると報告されています。

Q4. ワクチンの副反応はあるの？

- A. 主な副反応は
赤み(77%)、腫脹(54%)、易刺激性(42%)、傾眠状態(35%)、
37.5℃以上の発熱(34%)、疼痛(19%)です。

また、非常にまれにショック、アナフィラキシー様症状、けいれんが現れることがあります。
※重い副反応はなくても、機嫌が悪くなったり、腫れが目立つときなどは医師に相談してください。

Q5. ワクチンを打って健康被害を受けたら？

- A. 予防接種を受けたことによって健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると認定されたときは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法(PMDA)に基づく救済を受けることができます。



PMDA



引用：厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/index.html>

参考文献：予防接種リサーチセンター「予防接種と子どもの健康2025年度版」